

2022年11月18日

臨床研究

『高齢者EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するチロシンキナーゼ阻害薬の有効性・安全性』
を検討する研究について

茨城東病院胸部疾患・療育医療センターでは、標題の臨床研究を実施しております。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

肺癌診療ガイドライン2021年版においてドライバー遺伝子変異を有する患者さんにはチロシンキナーゼ阻害薬の使用が推奨されています。75歳以上の高齢者においても同様に推奨されていますが、その有効性、安全性のデータは限られています。当院における75歳以上のEGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者さんの治療状況、治療成績、副作用を検討します。

② 研究対象者

2011年3月から2022年2月までに当院で非小細胞肺癌と診断された患者さんのうち、EGFR遺伝子変異が陽性である患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年12月31日まで

④ 研究の方法

個人情報明らかにならないようにし、診療録をもとに後方視的に検討します。

⑤ 情報の項目：年齢、性別、組織診断名、EGFR遺伝子変異、病期、チロシンキナーゼ阻害薬の使用歴、そのほかの化学療法歴、治療効果、副作用、転帰

⑥ 情報の管理について責任を有する者

茨城東病院胸部疾患・療育医療センター 呼吸器内科 金澤潤医師

⑦ 研究機関名および研究責任者名

茨城東病院胸部疾患・療育医療センター 呼吸器内科 金澤潤医師

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんが本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

茨城東病院胸部疾患・療育医療センター：〒319-1113 茨城県那珂郡東海村照沼 825
所属：呼吸器内科 担当：金澤潤医師 電話：029-282-1151（月～木 8:30～17:15）